

事業実績報告書

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-12	講座名	環境カウンセラーと行く 「日本庭園を探る～日本庭園の成立と生物多様性」
記載日		団体名・企業名	岡本明子
<p>〈講座全体の概要〉(300字程度)</p> <p>社会科見学型環境講座、今回のテーマは『日本庭園』です。人工的に作られた空間ではあっても、多くの生物の住処を提供し、希少生物のゆりかごにもなっています。</p> <p>この講座は、日本庭園を軸に、座学、見学、体験を組み合わせた総合的な講座です。</p> <p>日本庭園とは何か、という根本的な疑問を紐解き、管理担当者の生の声を聴きます。あまり聞く機会のない日本庭園造成のコンセプトや造成までの道のりを当時の担当者にお話を伺います。白鳥庭園と徳川園を比較して、日本庭園の特徴を学び、白鳥庭園・徳川園をめぐる。流派を超えた茶道研究者による茶席の体験も加えます。</p> <p>日本庭園を通して、日本人の自然観や自然とのかかわりを、再認識していきます。</p>			
<p>〈写真添付スペース(1～2点)〉</p>			
			
<p>※写真1の説明</p> <p>白鳥庭園内茶室（立礼席）での講義。1・2・5回目講義の後、庭園で現物を見ながら解説を受ける</p>		<p>※写真2の説明</p> <p>白鳥庭園茶室(広間)での茶席体験 講師の心づくしを堪能</p>	
<p>〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)</p> <p>日本庭園とは何か、日本人の自然観とどのようにかかわっているか。そんな疑問から、この講座は始まりました。調べていくと『日本庭園』は人の手による人工的な空間ではあっても、実は多くの生き物の住処になっていることを知りました。逆に、人の管理があるからこそ、安定した自然環境が保たれ、希少種が生き残っていたり、多様な生物のゆりかごになっていたりを学びました。</p> <p>テーマを日本庭園にしたことで、ディープな環境人でない人の関心を引き付けることに成功しました。茶道経験者であっても、日本人の自然観形成の過程や茶道と日本庭園とのかかわりを学ぶ機会がなく有意義だったと好評でした。</p> <p>日本庭園は、少しの工夫で、生き物にとってより住みよい場を提供できる場所だとのこと、多くの関係者にそれが伝わり、努力されることを祈っています。</p>			
<p>〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)</p> <p>日本庭園の見方が変わった。</p> <p>管理された公園だからこそ自然環境が安定に保たれていて生物に住みやすいという考え方は、したことがなかった。</p> <p>日本庭園を造るという経験が聞けて良かった。やってみたい。</p> <p>講義の後、実際の庭を案内してもらくと、よくわかる。</p> <p>自然観・茶道の話が、仏陀の誕生から始まり驚いた。難しかった。面白かった。</p> <p>白鳥庭園の所長さんの話は、分かりやすくよかった。</p> <p>日本庭園をめぐる講座、もっとやってください。(解説付きで日本庭園を見たい)</p>			